

静岡労働局だより

2017.2

STOP! 転倒災害プロジェクト

- 「がん就労支援セミナー」を開催しました
- 静岡県の外国人雇用届出状況（平成28年10月末現在）を公表しました
- 地方労働行政功労者を表彰しました
- 公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズが決定しました
- 「介護就職フェア」・「介護職DVD視聴会」を開催しました
- 静岡県内の有効求人倍率（平成28年12月内容）



「STOP! 転倒災害プロジェクト」

健康安全課 054-254-6314

～2月の「重点取組期間」の推進について～

厚生労働省では、休業4日以上死傷災害のうち最も件数が多い転倒災害の減少を図るため、平成27年1月から同年12月末日まで「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」を展開しました。

平成28年1月以降も第12次労働災害防止計画達成のためこれを発展・継続させ、「STOP! 転倒災害プロジェクト」として引き続き転倒災害の防止対策に取り組んでいるところです。

そして、2月と6月は当該プロジェクトの実施要綱における「重点取組期間」です。

各事業場におかれましては、次の2月の実施事項について積極的な取組をお願いします。

2月の実施事項

- 安全管理者や安全衛生推進者が参画する場（安全委員会等）における転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議
- チェックリストを活用した安全委員会等による職場巡視、職場環境の改善や労働者の意識啓発

さらに、積雪・凍結が懸念される静岡県の山間部等では

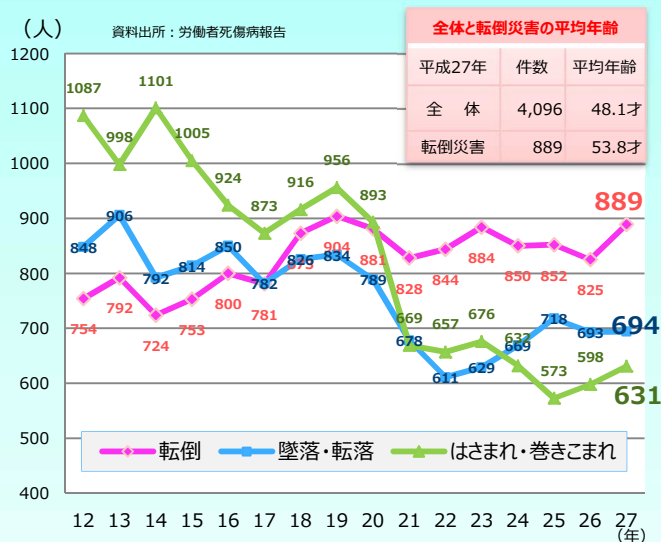
- 気象情報の活用によるリスク低減の実施
 - ア 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
 - イ 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
 - ウ 気象状況に応じた出張、作業計画等の見直し



転倒災害防止のためのチェックリスト

チェック項目	☑
1 身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
4 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
5 ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
6 職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか	<input type="checkbox"/>
7 荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか	<input type="checkbox"/>
8 ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか	<input type="checkbox"/>
9 作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	<input type="checkbox"/>
10 ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

事故の型別死傷者数の年別推移



静岡労働局職業安定部では、事業主の方・仕事とがん治療の両立に関心のある方を対象とした「がん就労支援セミナー」を、平成29年1月19日（木）に東部会場（沼津市：プラサヴェルデ）と、1月27日に西部会場（浜松市：浜松医療センター）において開催いたしました。

当日は、「がんの現実」に関心のある事業所（東部会場では84社（86名）、西部会場では67社（82名））の参加がありました。

セミナーでは、地元がん拠点病院関係者から「がんの治療・医療費等」について説明と、労働局・ハローワーク・静岡産業保健総合支援センターから「がん罹患者の就労支援」について説明し、「がんになっても仕事ができる」社会への実現にむけ、多くの事業所からの関心と理解が得られた有意義な時間となりました。



セミナーの様子（プラサヴェルデ）

外国人労働者数が46,574人(前年同期15.4%増)

外国人雇用状況の届出制度は、雇用対策法に基づき外国人労働者の雇用管理の改善や再就職支援などを図ることを目的とし、すべての事業主に対し、外国人労働者（特別永住者及び在留資格「外交」・「公用」の者を除く。以下同じ。）の雇入れ又は離職の際に、外国人労働者の氏名、在留資格、在留期間等について確認し、厚生労働大臣（ハローワーク）へ届け出ることを義務付けています。

このたび、平成28年10月末現在の届出状況を集計しましたので、公表します。

ポイント

外国人労働者を雇用している県内事業所数は5,755事業所。前年同期と比較すると503事業所、9.6%の増加となった。また、県内の外国人労働者数は46,574人で、前年同期と比較すると6,198人、15.4%の増加となった。（事業所数は全国で7番目（上位は、東京・愛知・大阪・神奈川・埼玉・千葉）、外国人労働者数は全国で5番目（上位は、東京・愛知・神奈川・大阪））

国籍別外国人労働者数は、ブラジルが最も多く16,703人で、外国人労働者全体の35.9%であった。次いでフィリピンが8,874人（同19.1%）、中国が6,953人（同14.9%）であった。

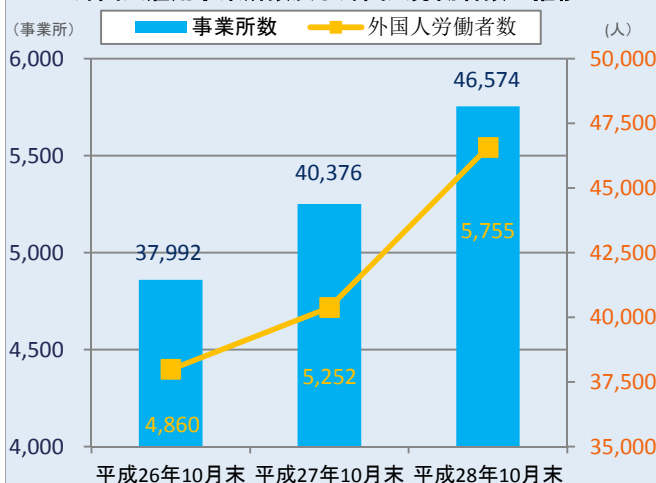
県内で労働者派遣・請負事業を行っている事業所のうち、外国人を雇用しているのは1,230事業所で、外国人雇用事業所全体の21.4%であった。また、派遣・請負事業所で就労する外国人労働者は22,115人で、県内の外国人労働者全体の47.5%であった。

（外国人労働者の派遣・請負割合は全国で2番目（上位は、滋賀））

産業別でみると外国人労働者を雇用する事業所数及び外国人労働者数は、製造業が最も多く、産業計に占める割合では事業所数は39.1%、労働者数は47.3%。

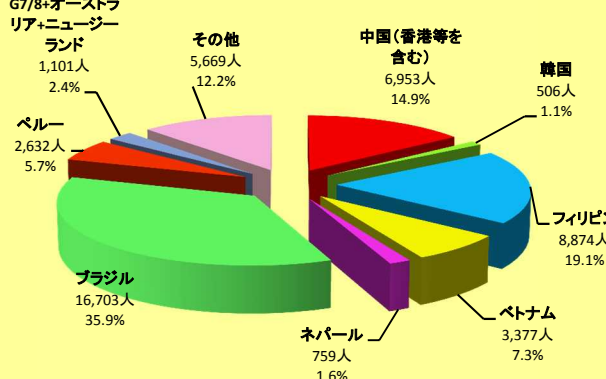
県内地域別における外国人労働者を雇用する事業所数及び外国人労働者数は、西部地域が最も多く、県内全体に占める割合では事業所数は47.1%、労働者数は54.7%となっている。また、中部地域では事業所数は25.5%、労働者数は21.9%、東部地域では、事業所数は27.4%、労働者数は23.4%となっている。

外国人雇用事業所数及び外国人労働者数の推移



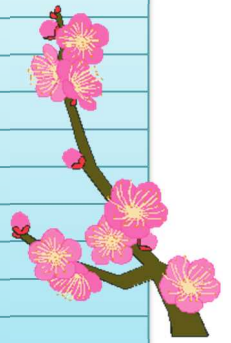
国籍別外国人労働者の割合

（外国人労働者数46,574人）



静岡労働局では平成29年1月5日、長年に渡って地方労働行政推進のために多大な貢献いただいた方に対する顕彰式典を開催し、13名の方が表彰されました。
(表彰別・五十音順、敬称略)

表彰・感謝状の種類	御芳名	職名
厚生労働大臣表彰	寺本 健二	静岡労働局地方労災医員
労働基準局長表彰	秋山 登志子	静岡地方最低賃金審議会委員
静岡労働局長表彰	天野 麻美	静岡労災保険診療審査・指導委員会委員
	池上 直美	静岡労働局地方労災医員
	木谷 聡	静岡労働局労災協力医
	木村 雄一郎	静岡労働者災害補償保険審査参与
	篠原 光秋	静岡地方最低賃金審議会委員
	松永 忠彦	静岡労働局労災協力医
	宮本 恒彦	静岡労災保険診療審査・指導委員会委員
静岡労働局長感謝状	大村 愛美	静岡紛争調整委員会委員
	平岩 哲行	静岡紛争調整委員会会長
	松田 勝一	静岡地方労働審議会委員
	村越 啓悦	静岡紛争調整委員会委員



公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズが決定しました

地方訓練受講者支援室
054-271-9956

厚生労働省が公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズを「ハロートレーニング～急がば学べ～」に決定しました。
このうちキャッチフレーズ「～急がば学べ～」は当局ハローワーク沼津求人部門 海野吉弘統括職業指導官の応募作品が選定されました。愛称「ハロートレーニング」は東京都 大井田雄策さんほか25名が応募されました。



ハローワーク沼津 海野統括職業指導官 (写真右)

応募総数2,857件（愛称：1,393件、キャッチフレーズ：1,464件）の中から、11月17日開催された選定委員会での審査により決定されました。選定委員会委員は選定委員長：秋元康（作詞家）、今野浩一郎（学習院大学経済学部教授）、神野紗希（俳人）、三遊亭円楽（落語家）の4名。

今回の取組み

- 「愛称」「キャッチフレーズ」を公募のうえ選定。選定した「愛称」「キャッチフレーズ」を使用し、公的職業訓練が、全ての働くこととする方、働いている方にとってキャリアアップや希望する就職を実現するためのツールであることを周知。公的職業訓練の活用の促進を図り「一億総活躍社会の実現」「働き方改革」を推進する。

選定理由

- 「ハロー」とは、新たな出会いを表す希望の言葉。トレーニングで鍛えた筋肉のように、「ハロートレーニング」を通じて仕事に必要な「スキル」（知識と技能）をしっかりと身につけて欲しい、そんな気持ちを表しています。
- また、新たな職業やスキルにチャレンジするには、ちょっと時間がかかるかもしれませんが、「急がば学べ」。焦らず、前向きに！
- 「ハロートレーニング～急がば学べ～」は新たなスキルアップにチャレンジする全ての皆さんをサポートする、「公的職業訓練」の「愛称」と「キャッチフレーズ」です。

公的職業訓練とは

- 公共職業訓練と求職者支援訓練の総称。
- 求職者が就職に必要な職業スキルや知識を習得するために、無料で受けられる訓練（離職者訓練）。その他、在職者向け訓練、学卒者向けの訓練のほか、障害をお持ちの方を対象とした訓練も実施。

ハローワーク浜松は、介護職 や看護職に興味のある方を対象とした「介護就職フェア」を、平成29年1月23日(月) みをつくし文化センターにおいて開催いたしました。



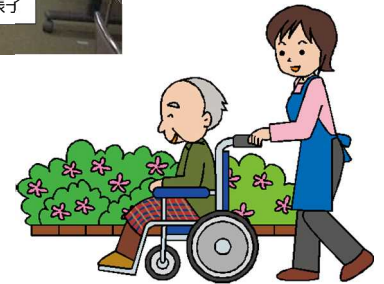
みをつくし文化センターで開催された「介護就職フェア」の様子

会場内に設置した各施設ブースでは施設情報や仕事内容・待遇面について事業所から話を聞くことができ、相談コーナーでは、就職相談のほか免許・資格等の情報提供が行われました。当日は、浜松市西区及び北区の介護施設・事業所24社、仕事を探している方(男性23名、女性36名)の参加があり、51件の面談が行われました。

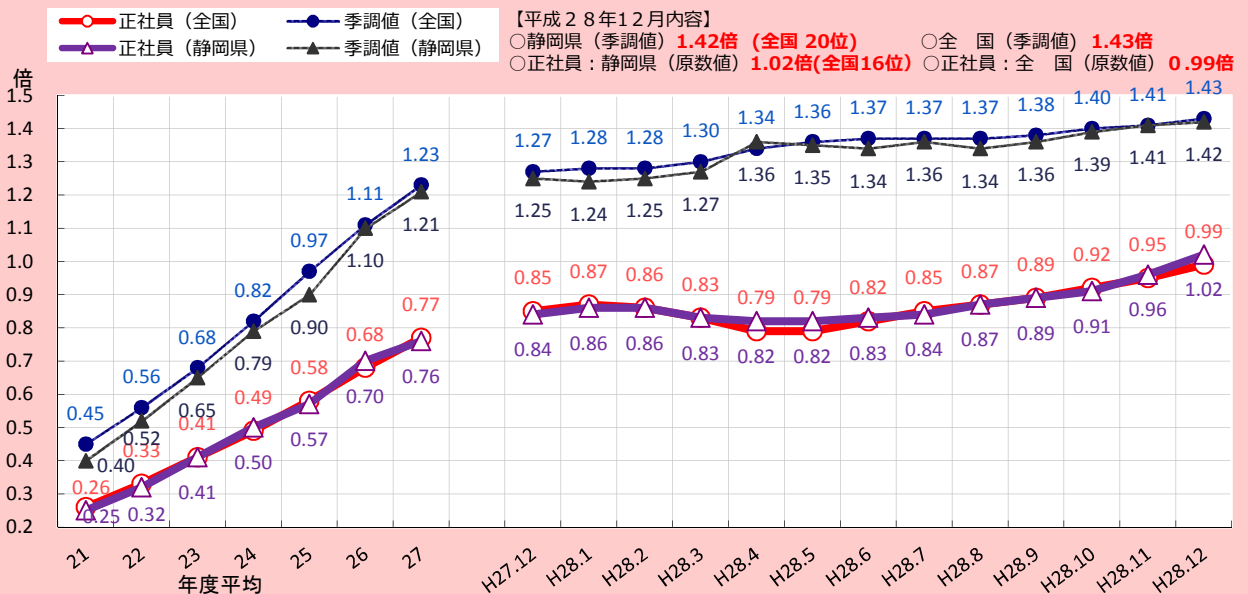
また、同日開催として実施した「介護職DVD視聴会」では、介護職に興味はあるけれど知識・経験のない方等を対象として、DVDの上映を行い、介護サービスの雰囲気を感じていただきました。



「介護職DVD視聴会」



静岡県内の有効求人倍率 (平成28年12月内容)



	H29年		H28年
	1月発生分	累計	累計
製造業	1	1	7
建設業	0	0	7
運輸業	0	0	4
農林業	0	0	0
その他	0	0	6
合計	1	1	24

平成29年1月31日現在

発行

静岡労働局 雇用環境・均等室

〒420-8639

静岡市葵区追手町9番50号 (静岡地方合同庁舎3階)

TEL <054>254-6320

FAX <054>254-6543

<HP> <http://shizuoka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>